2014 4-4

Misago ステントを用いた大腿膝窩動脈領域への血管内治療の安全性・有効性に関する多施設・前向き研究

今回対象となる閉塞性動脈硬化症は、浅大腿動脈から近位膝窩動脈の狭窄症及び閉塞症であり、血管が詰まることによる下肢のしびれ、冷感、跛行（歩くと足が痛み、休憩すると痛みが治まる状態をいいます）あるいは安静時疼痛（じっとしていても痛みがある）といった症状があります。このような症状のある患者さまが対象となります。

今回、参加をお願いしようとしている治療法は厚生労働省で既に、安全性や有効性の臨床試験が終わり、新たに承認になった Misago ステントを使用します。

この研究の目的は、Misago ステントが多くの患者さまに使用できるようになった現在、実際の日常の臨床でも、有効であるかおよび安全であるかを明らかにすることです。治療後の状態を 2 年間観察します。

本研究は、国が定めた「臨床研究に関する倫理指針」を遵守し、当院での臨床研究倫理委員会（臨床研究の実施または継続について、倫理的観点及び科学的観点から調査及び審議する委員会）においてその科学性・倫理性について厳重に審査され、病院長の承認を受けて実施されます。